

## 【対象者数の推移】

平成23年度調査 ⇒ 対象者数 16,001人

平成24年度調査 ⇒ 対象者数 14,516人

平成25年度調査 ⇒ 対象者数 15,218人

平成26年度調査 ⇒ 対象者数 15,125人

 福島県内で妊娠される方が、一時減少したものの、平成25、26年度と増加しつつあります。


## 【早産率・低出生体重児率、先天奇形・先天異常発生率】

(%)	早産率	低出生体重児率	先天奇形・先天異常発生率	3~5 ※一般的な 発生率
平成23年度	4.75 (5.7)	8.9 (9.6)	2.85	
平成24年度	5.74 (5.7)	9.6 (9.6)	2.39	
平成25年度	5.40 (5.8)	9.9 (9.6)	2.35	
平成26年度	5.43 (5.7)	10.1 (9.5)	2.30	

早産率と低出生体重児の( )については各年度の人口動態統計における割合及び発生率

早産：妊娠22週から37週未満で生まれた赤ちゃん

低出生体重児：2500gよりも小さく生まれた赤ちゃん

 早産率、低出生体重児率、先天奇形・先天異常発生率は、政府統計や一般的に報告されているデータとはほとんど差がないことが分かりました。

県民健康調査の「妊産婦に関する調査」とは？（福島県立医大放射線医学県民健康管理センターウェブサイト）より作成

震災後、一時的に福島県における出産数は減少しましたが、平成25、26年度は平成24年度と比べて増加しました。

また、放射線等の新生児への影響が心配されましたが、震災後、福島県内における早産率、低出生体重児率、先天奇形発生率等は、全国的に人口動態統計や一般的に報告されているデータとは差がないことが分かっています。

本資料への収録日：平成27年3月31日

改訂日：平成28年3月31日